

# J R 総連通信

2018年10月18日 No.1289

全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連） <http://www.jr-souren.com>

## J R 西労が8回目の「体感研修」中止を申し入れる！

## 石井国土交通大臣がJR西の「体感研修」にコメント



2018/10/16 テレビ朝日「スーパーJチャンネル」



2018/10/12 テレビ朝日「報道ステーション」

J R 西日本の新幹線 300km/h 「体感研修」の問題については、J R 総連通信 No. 1284 号(8/28)で指摘したが、10月16日、石井国土交通大臣は記者会見で、「国交省としてはJ R 西日本が行っているやり方についてはその効果もさることながら、安全性の確保や必要性について問題意識を伝えている」と明らかにした。

この記者会見を受けて取材に応じたJ R 西日本は「国交省からそのような話は聞いている。より良い研修のやり方や見直しも検討している」と答えたという。

この「体感研修」は、2015年8月にトンネル走行中の新幹線で車両カバーが脱落し、乗客が負傷したことを受けて始まったもので、J R 総連加盟のJ R 西労は、2017年5月以降7回に渡って「300km/h 近接体感研修中止の申し入れ」を行い会社と議論してきた。しかし、J R 西日本は「安全意識の高揚と職責の重要性を再認識することが目的」だとして、月1回ペースで継続して実施している。

ジャーナリストの大谷昭宏氏は、10月16日の報道番組の中で、「これを見ていると（福知山線脱線事故から）体質は変わっていないという気がする。恐怖を与えて研修するというのは、絶対に効果なんかあるはずがない」とコメントしている。

J R 西労は10月18日、8回目の中止の申し入れを行った。J R 総連は、極めて危険である「体感研修」を中止させるようJ R 西労とともに取り組んでいく。



2018/10/13 テレビ朝日「週刊ニュースリーダー」

J R 西労（申）第4号  
2018年10月18日  
西日本旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長 来島 達夫 殿

J R 西日本労働組合  
中央執行委員長 菅野 武男

### 新幹線 300 km/h 近接体感研修の中止を求める申し入れ

新幹線鉄道事業本部内の博多総合車両所及び各支所において、検修社員に対し「300 km/h 近接体感研修」が実施されていることについて、昨今の報道によると、国土交通省は、「研修のあり方や安全性及びその効果についての考え方をJ R 西日本に伝えている」とされている。また、J R 西日本はそれを受けて「見直しを検討している」ことを明らかにしている。  
私たちはこれまでも、この研修の中止を求めてきたが、改めて以下のとおり申し入れるので、早急に誠意ある回答をされたい。

記

1. 「300 km/h 近接体感研修」を直ちに中止すること。
2. 国土交通省から伝えられた内容について明らかにするとともに、新幹線検修職場における今後の研修のあり方、具体的内容、安全性について、労働組合に説明すること。

以上

## 危険な「体感研修」を中止し、責任追及から原因究明の企業体質を確立しよう！